



Chartered 1990

甲府 21 ワイズメンズクラブ



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2025 年 12 月 06 日 (土) 発刊

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央 3 丁目 10-7

山梨 Y.M.C.A グローバルコミュニティセンター

055-235-8543 fax 055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com



国際会長

エドワード・オン(シンガポール) 「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)

アジア太平洋地域会長

田上 正(熊本むさし) 「信念と愛を持って行動しよう!」  
(Act now with faith and love!)

東日本区理事

山下 真(十勝) 「ワイズのらしさ再発見」  
(Rediscovering Y's Uniqueness)

あづさ部部長

山口 直樹  
(東京武藏野多摩) 「垣根を低くし、活発な活動を」

甲府 21 クラブ会長

水越 正高 「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」  
(Connecting the Next Generation)

甲府 21 ワイズメンズクラブ

2025 年 12 月会報

今月の強調テーマ

キリスト教理解  
IBC今月  
の  
聖句

旧約聖書、イザヤ書、52 章 10 節

主はその聖なるかいなを、もろもろの国びとの前にあらわされた。地のすべての果は、  
われわれの神の救を見る。

岡牧師 (インマヌエル甲府教会)

## 12 月 卷頭言



中山湖から撮影した富士山

「青少年の未来を創るクラブとして  
歩んだ半年を振り返って」  
甲府 21 ワイズメンズクラブ 会長 水越正高

気がつけば一年も折り返しを過ぎ、街には少しづつ冬の気配が漂い始めました。12 月は、私たちにとって活動の節目を迎える大切な時期です。この半年を振り返ると、あらためて「青少年の未来を創るクラブ」という今年度の主題を、全員で体現してきた時間だったと感じます。

特に 11 月は、私が入会して以来、最も忙しく、そして最も充実した一か月でした。毎週のようにワイズの活動が続き、懐ただしさを覚えることもありました。その一つひとつが青少年・ユースと直接関わる尊い時間でした。仲間と共に汗をかき、子どもたちと笑

い合い、時に励まし合いながら創り上げた日々は、私にとっても忘れられない経験となりました。

ベビーカーコンサートでは、小さな子どもたちが音楽に触れる貴重な文化体験の場となりました。泣き声も笑い声もすべてが音楽の一部となり、その光景は私たちが大切にしてきた“心と人を育てる活動”そのものでした。また、2 回目となる銀河鉄道の森でのディキャンプも、多くの会員の皆さまの協力のもと、安全に、そして温かく実施することができました。ユースリーダーたちが導き、子どもたちが初めて出会う仲間と共に自然へ一步踏み出す姿は、まさに私たちの事業の成果が形となった瞬間でした。

この 11 月を乗り越えられたのは、準備に奔走してくださった会員の皆さま、当日現場で支えてくださった皆さま、そして常に前向きに参加してくれるユースと子どもたちのおかげです。この場を借りて、心より感謝申し上げます。皆さまの力がなければ、今年度の CS 活動の多くは実現しませんでした。

そして 12 月は、次なる未来へのスタートでもあります。来年にはいよいよ 35 周年記念旅行が控えており、キャビネットでは準備を始めようとしております。これまでの半年間の苦楽を仲間と分かち合い、次の節目となる 40 周年へと続く歩みを、ここからさらに確かなものにしていきたいと思います。

季節は冬へ移り、空気は冷たくなりますが、人のつながりはあたたかくなる時期でもあります。どうか皆さま、お体に気をつけながら、今年最後の月を共に歩んでいきましょう。そして、笑顔でクリスマスと新年を迎えられますよう、心より願っております。

## 2025 年クリスマス例会プログラム

クリスマス例会プログラム 17 時～ 奏楽：杉田 博子ワイズ  
司会：小澤智之  
「第1部礼拝」

- ①前奏
- ②讃美歌
- ③聖書
- ④説教
- ⑤お祈り
- ⑥讃美歌
- ⑦ソプラノ独唱

インマヌエル甲府教会岡 信男 牧師

杉田 博子

司会：佐藤利之

「第2部 例会」

- ①開会点鐘
- ②ワイズソング / ワイズの信条
- ③会長挨拶
- ④ゲスト紹介
- ⑤ハッピーバースデー  
メン：薬袋勝 平田耕司 館場 裕 メネット：寺田岸子
- ⑥諸報告
- 《休憩五分》

「第3部 祝会」

- ①感謝の祈祷
- ②乾杯
- ③食事と歓談のひと時
- ④お楽しみ抽選会
- ⑤★マジックショー
- ⑥YMCA の歌
- ⑦閉会点鐘

司会：佐藤利之

山縣譲治さん  
荻野清次期会長

キャビネット  
水野翔

水越正高

## 11月第1例会報告

書記 佐藤 利之

・日時 2025 年 11 月 18 日 (火) 18:30～  
・会場 山梨 YMCA 3F

2025 年 11 月の第一例会が山梨 YMCA 3F で開催されました。

まずバザーの報告がありました。甲府 21 は過去 1 番の売り上げを記録でき YMCA にしっかり貢献できたと思います。

続いて今回のメインの打ち合わせである第 2 回子どももゆめ基金事業「銀河鉄道の森ディキャンプ」第 2 弾 (2025 年 11 月 24 日実施) の打ち合わせがありました。

前回大変好評で 2 回目は早々にお申込み打ち切りとなるとてもうれしい結果でした。佐藤実行委員長からあらためて夢基金の意義を説明いただきました。また事務方より配置、役割分担について説明がありました。

最後にクリスマス例会の概要の説明をいただき年末を感じたのでした。

## 銀河鉄道の森ディキャンプ



はじまりの会



工作の材料バイキング

第1回 2025 年 9 月 23 日 (祝)  
第2回 2025 年 11 月 24 日 (振替)



スマア実習



クラフトワークの時間

## 子ども夢基金からの助成金採択の活動

甲府 21 CS/YSA 委員長 佐藤重良

昨今の東日本区は高齢化が進みクラブ会員減少に歯止めがかかる、クラブ活動の縮小も続いている。こんな中で甲府 21 クラブの事業活動として、外部の資金を獲得して「ワイズの認知度向上と、世の中に少しでも貢献しよう「特に子ども達のために」ということで、子どもゆめ基金に助成金の申請をしました。これは所沢クラブ 大沢和子さんに教えていただいた情報です。運よく採択されました(2025 年 4 月 1 日採択決定。23 万円が支給されます)その記録としてここに留めておきたく寄稿します。

＜実施のコンセプト＞車社会・スマート社会から一次脱却・森で思いっきり遊び・自然の大切さを体験する。

場所：山梨 YMCA の整備中のキャンプ場「銀河鉄道の森」(山梨県韮崎市)

教育指導：講師として山梨 YMCA の皆さんと、ユースリーダー(大学生)の支援をいただきました。

## ＜具体的な内容＞

- 会場までは JR の電車を利用、切符を集団で乗車しました。そして新府駅からは徒歩 15 分を歩いて移動しました。・・・体験
- 森の体験(木・植物の葉っぱや木の実などを集めて木の名前を知る。木の葉っぱは、なぜ秋には黄色になるその理由の勉強など)
- 森の遊具体験・森の中にある遊具を使いお友達と思う存分遊ぶ、ブランコ・ターザンロープを使った遊び(公園や・学校の他にはない遊具の体験等)
- 焚火でスマートを食べること・・・普段は体験できない焚火の体験 ※これは実は参加者の小 6 からの提案で急遽実施をしたもの。マシュマロをたき火で炙って食べる体験は大人気でした。
- なるべく省力。昼食は市販のお弁当とメネットさん手作りの豚汁(アレルギーの事前調査した対応)。第 1 回はカレーで大好評でした。
- 工作はクリスマスのリース作り・材料はワイズが自然から拾い集めたものに加え、岩窪の近所の方からユーカリの枝葉をたくさん頂きました。
- プログラム作成・運営・実施には山梨 YMCA の皆さんから指導いただきました。菊池さん、田草川さん、平賀さん。そして YMCA のユースリーダーさん達。また 11 月では工作の講師 3 人に来て頂き、細やかな指導をおこなって頂きました。
- 当日甲府駅、韮崎銀河鉄道の森でお手伝い頂いたワイズの皆さん。その準備の段階からチラシ作成、ホームページ作成をしてくださったブリテン委員長、記録用の映像を撮影してくださった小澤智之さん。リボンを作ってくださった赤根さん。本当に大勢の方のおかげさまで、実施できたこと深く感謝しております。

最後に～当初はこのようなプログラムに参加してくれる人がいるのだろうか。お申込が 5 人しかいなかつたらどうしよう、と心配していましたが、フタを開けてみたら 25 人の募集(保護者含む)に対して 9 月 23 日は 32 名、11 月 24 日は 41 名が参加してくださったことで、ああ正解だったとホッとしているところでもあります。ありがとうございました。

＜アンケートは別添します＞

## ＜12月の誕生者＞

＜敬称略＞

＜メン＞

薬袋 勝 12/15 饗場 裕 12/20

平田耕治 12/24

＜メネット＞

寺田 岸子 12/7



## ＜11月例会出席者＞



## 11月会計報告

会計 山口 了

## [会計報告]

2025 年 10 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
11月の合計	20,739	100,000	120,739
11月末迄累計	117,579	100,000	217,579
達成率	47.0%	100%	62.2%

## 今後の予定

12月 16 日(火) 第2例会 18時半

1月 10 日(土) 在山梨 4 クラブ合同例会

11:00~14:00 魚吉会館(富士吉田市)

1月 12 日(月・祝) お正月を遊ぼう

1月 20 日(火) 第2例会 18時半

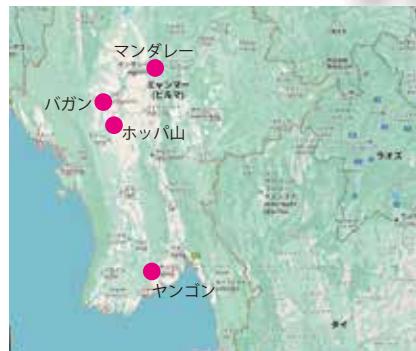
## 第8回ベビーカーコンサート

2025年11月15日（土）午前11:00～11:55 演奏：パルフェのみなさん  
 来場者：68名（オリーブの木利用者含む） 会場：山梨YMCA3階 ベテル 入場：無料  
 実行委員長：寺田喜長



晴天に恵まれた2025年11月15日（土）、第8回ベビーカーコンサートを開催いたしました。今回も「音楽アンサンブル パルフェ」の皆様にご協力頂き、楽しいひと時を持つことが出来ました。ピアノ、フルート、キーボードなどの楽器の他に、大小のビンを並べた手作りの楽器での演奏、トーンチャイムや小さなハンドベルを音階別に来場者に担当して頂き全員での合奏、軽快なディズニーマーチに乗って子供たちの行進等全員参加の演奏会でした。21組の申し込みを頂きましたが来場されたのは19組58名とオリーブの木関係者5名、ワイズメンバー15名、ネット有4名、ボランチア1名、計83名でした。来場いただいた方々には会場を華やかに彩りました生花を一輪ずつお渡しました。アンケート集計はまだできていませんが、以前来場された方々へのメール、友人知人の紹介により応募された方が多く、チラシ、情報誌、パルフェメンバーの門下生等が応募されました。YMCA、ワイズメンズクラブの知名度は以前よりは増えてました。

## 大人な徘徊 第6話 ミャンマー (2016年9月15日～26日)



薬袋 勝

日	徘徊場所	宿泊地
15-17	羽田、マンダレー、 ミングオ	マンダレー
18-21	マンダレー、 ホッパ山	バagan
22-25	ヤンゴン	ヤンゴン
26	ヤンゴン、羽田、甲府	

子供のころ愛読した「ビルマの豊饒（この著作は、ビルマ仏教：上座部仏教ではあり得ない内容のため、ミャンマーでは批判を受けている）」の国、軍政が解かれウンサンスー・チ氏が政界に復帰しており、経済の上昇機運が見られた頃の訪問でした。

マンダレーやバaganの清潔で静かな街並みや仏教遺跡と敬虔な仏教徒が印象的でした。マンダレーでは、バイクの後ろに客を乗せるバイクタクシー（東南アジアではこれが便利）を利用し、狭い道を通り抜け時間を短縮する能率的な観光を楽しみました。マンダレーからバaganまでは、アクセスが悪くガイド付きタクシーを雇い「精霊ナック信仰」の中心地ホッパ山経由の徘徊でした。到着したバaganでは、古い仏教寺院と林立するパゴダを JICA の協力による試験的な乗り降り自由なバスを利用しまわることが出来ました。

ヤンゴンでは、山手線みたいな環状線を利用しての徘徊、ついでにスーター氏の監禁されていた家を探したのですが残念ながら見つか

りませんでした。

このヤンゴンはすでにネトピーに首都を変えており、発展が期待されましたが、現在この国はまた軍政に戻ってしまい経済の低下傾向がみられ、早く平和な国に戻ることを祈っています。

歩行数：221,674 / 18,473 歩

歩行距離：165.0 / 13.8Km



王宮（マンダレー）



古い寺院（バagan）



朝の托鉢尼僧（ヤンゴン）

## ペンリレー

### 「高齢者の一断面」

松村 穎夫

ブリテン委員長の野々垣和宏さんに急に12月号のペンリレーをお願いされてしまいました。書くことも話すことも苦手な私に何が書けるかと、三日間悩みました。仕方がないので、つい先日幹事として実施した大学同窓会の経過と外出の難しさについて述べたいと思います。

1966年卒業の理学部化学科同窓会はコロナ禍の前年である2019年以来開催しておりませんでした。そこで、頼まれもしないのに友人三人と幹事になって、住所のわかっている32名に同窓会の通知を出しました。その結果24名の方から応答があり、内12名の方から出席の返事があり、晚秋の小石川後楽園の中にある「涵徳亭」にて約3時間親しく歓談の時を6年ぶりに持てました。

それはそれでうれしいのですが、残念なことは、遺族の方から2019年以降5人の同窓生が御逝去されたとの報告があったことです。また、欠席の返事のあった7人の方のほとんどが、体調不良で外出が難しいとか、施設に入っている、とのことでした。又、出席との通知を戴いたのに、定刻になっても会場にお見えにならなかつた方がお二人いました。そこでご自宅に電話したら、お一人の方はご自分で軽度認知障害（MCI）があると言っておられる方で、失念していたがこれから行くとの返事をいただき、約40分遅れて出席していただけました。もうお一人の方は当日は電話がつながらず翌日再度電話をしたら、飯田橋まで行ったが結局「涵徳亭」への道がわからずあきらめて帰った、とのことでした。

確かに、飯田橋には、JR 東日本:中央・総武線（各駅停車）、東京メトロ：東西線、東京メトロ：有楽町線、東京メトロ：南北線、都営地下鉄：大江戸線、と路線の異なる五つの駅があり、それが地下道で複雑に繋がっています。しかも地上への出口が幾つものあり高齢者にとってとても複雑です。私も、今回上京して「涵徳亭」にたどり着くのも、また、帰りのあすさに乗るまでも乗換がわからず大変苦労しました。

それはともかく、幸いにして集えた11名は、何とか再会できることをお互い感謝し、出来たらまた来年も同じ場所で再会しようと言って別れました。

## ◆YMCA便り◆

### 「つながり、深まる冬の光」

総主事 中田 純子

朝晩の冷え込みに冬の訪れを感じるこの季節、ワイズメンズクラブの皆様には、本年もパートナーとして多くの活動にご参画いただき、心から感謝申し上げます。

去る11月3日、第65回山梨YMCAチャリティーバザーを無事盛会のうちに開催できました。新会館ホールや各フロアへ広がる売場、昨年度から復活した食堂やタレントショー、そして恒例の「びっくり市」など、誰もが思いをひとつに力を合わせて、地域に笑顔と賑わいを届けることができました。得られた収益は、障がい児支援や高齢者福祉、そしてYMCAが取り組む“途切れのない居場所づくり”的に活用いたします。ご協力くださったすべての会員・ボランティア・関係団体の皆さんに、心より御礼申し上げます。

12月4日には本館クリスマスツリーライト式を行います。また、りんごの木でも利用者の皆さんと灯をともす予定です。保育園、放課後児童クラブ、放課後等デイサービス等、各事業でもクリスマス会が順次開催され、一人ひとりに希望の光が行き届くよう、心を込めてクリスマスを祝います。

各ワイズクラブでも、恒例のクリスマス例会が予定されています。特に甲府ワイズメンズクラブは、冬休み期間、放課後児童クラブや放課後等デイサービス、高齢者事業に「しめ縄飾り」作りを通して寄り添ってくださるなど、日本の伝統を次世代に手渡し、多世代の温かな交流を支えてくださっています。「誰もが大切にされている場」の実現は、皆さまのその一つひとつの働きを通して生まれています。

一年の終わりを迎え、皆さまと共に未来への希望の光をともせる恵みに、心から感謝いたします。どうかこの年末もご自愛のうえ、新しい年がワイズメンズクラブ・山梨YMCAのつながりと温もりをより深める時となりますよう、心よりお祈りいたします。